

2023-24年度

Gordon R. McInally RI会長テーマ

Create Hope in the World



世界に希望を生み出そう

D.2520 仙台泉ロータリークラブ

鷺見 泰宏会長テーマ

必要とされることの喜びをかみしめよう！

Rotary

Club of Sendai Izumi



2024.6.20第2544回仙台泉ロータリークラブ例会

SAA 堀越康寛会員

【会務報告】中村 昭幹事

泉区民ふるさとまつり協賛会様より
第42回 泉区民ふるさとまつり広告協賛についてのお願い拝受

泉区まちづくり推進協議会様より 令和6年度総会資料拝受

ガバナー事務所様より 2023-24年度青少年交換（長期）帰国報告会
2024-25年度 青少年交換（長期）派遣壮行会開催のご案内
日時：7/27（土）17：00～19：00 場所：江陽グランドホテル

当クラブより推薦の、崔 裕眞くん（東北学院高校）の派遣先は、5950/5960地区（ミネソタ州）と決まり、9/3よりMinnetonka High Schoolへ約1年間の留学

新会員入会式

小山 加奈氏 (オヤマ カナ) 1982年生まれ
職業分類 不動産賃貸管理
事業所 Uエステート株式会社 代表取締役
住所：青葉区小松島4-31-9-1パティオU 102
推薦者 野村佳生会員、鷺見泰宏会長



F S M

乾杯の挨拶



小池康浩 会員

お誕生月祝い



ご結婚記念月祝い



- 6月お誕生祝い 野村佳生会員 前田俊一会員 横田吉則会員 萱場久美会員 鷺見泰宏会長
- 6月ご結婚記念月祝い 木村光宏会員 大垣隆志会員 沢崎義春会員
時 準雄会員 小早川智会員

～2023-24年度の100%出席表彰については、来月7月のFSMでの発表となります～

前田 俊一 会員スピーチ

先日、何気なく車の中で、ラジオを聴いていましたら脳の老化の事について、その研究をしている大学の先生が説明をしていました。体力もさることながら、視力や聴力も含め、全てに老化を感じている昨今の私ですからそのラジオの解説に興味を持ちました。

加齢による物忘れ等の現象はやもう得なく、記憶力筋力、免疫力等の低下は、40代から加速し、65歳以上の高齢になると、どうしても脳の老化現象が顕著になりますが、脳はこれからむかえる「死」に対する準備として、その緩和するために老化していくものです。それに抗らう事無く、素直に受け入れて良いのです。と説明していました。

多分いろんな意味を含めた解説だとは思いますが、そうかもしれないと思う反面、必死に抵抗したいと思う自分がいて、後日、この事について調べてみました。

近年、研究が進められてきたことに依って、様々なことが、解ってきたようです。高齢期における知能の変化は衰退する側面と、高齢迄 維持、強化される側面の両面があるというのです。最初の衰退する側面は「流動性知能」と呼ばれ、計算力や暗記力など、新しい場面への適応が要求される能力です。新しい商品（ICT機器等）が出たときになかなか使いこなす事が難しいという高齢者いるのは、生理学的機能に依って働きが規定される影響かも知れません。

一方、高齢期まで、維持・強化される知能は「結晶性知能」とよばれ、語彙力、判断力、問題解決能力、など年を重ね、経験を積み重ねる事に依って、培われ強化されている側面もあるということです。

これは、経験という貴重な財産を脳に蓄えていったり生活習慣や、訓練に依って維持していく事のできる能力なのです。

最近の研究で、何歳になっても脳は若返る事が出来る事が解ってきたそうです。これまでは、脳細胞は、再成長はありえず、新たな細胞は生成しないと言われてきましたが、近年の研究で、新たな細胞が生成できることが立証されました。何歳になっても、自分の脳を作る、再生できる可能性があるということです。この発見はパーキンソン病やアルツハイマー病などの、脳が衰えていく病気の治療や自分の知力を維持、向上させたいと願う人たちに、希望をもたらしました。「年だからもう無理」と考えず、何歳になっても新たなチャレンジに心掛けることも大切なことだと思います。

私は後期高齢者のラインをとくに過ぎてしまいましたが、老化に必死に抗らいつつながら、ゴルフや社交ダンスに頑張りこれからも過ごしていきたいと思っています。



ロータリーがインドの農家支援のために200万米ドルの大規模プログラム補助金の授与を発表

国際ロータリーの第4回大規模プログラム補助金200万米ドルが気候変動の影響を受けたインドの農家の支援のために授与されることが、2024年ロータリー国際大会（シンガポール）でバリー・ラシン財団管理委員長により発表されました。

「Partners for Water Access and Better Harvests in India」（インドにおける水へのアクセスとより良い収穫のためのパートナー）と呼ばれるこのプログラムは、地下水量を改善し、耕作面積を広げ、約6万人の農家の収入を推定25～30%改善することを目指しています。

「インドの農家は世界の穀物やコメ、そのほかの主食を生産していますが、これらの農家が依存している地下水がなくなりつつあります。気候変動により雨量が不安定となり、それによって干ばつが起きています」とラシン管理委員長。「私たちはインドの農家と協力して、インドの次世代やそれ以降の世代のための持続可能な農業に必要な種をまくための5年間のプログラムを立案しています。

RIニュースより抜粋

【寄付金積立】 米山記念奨学会特別寄付 10名より10,000円・ロータリー財団寄付積立10名より10,000円

ニコニコボックス

中村 昭幹事 小山様ようこそ仙台泉RCへ。各種表彰の皆様おめでとうございます。

以下同意文にて 市川・小野寺・鎌田（一）・鎌田（善）・工藤・蹴揚・小池・斎藤（文）・鷺見・沢崎・高橋・寺嶋・永井・中嶋・野村・藤岡・藤嶋・堀越・前田・村上・本木・鷺尾（広）鷺尾（光）各会員 今回26,000円 今年度累計1,275,400円